

「吉備国際大学 環境マネジメント活動」の紹介

吉備国際大学は全学的に、環境マネジメント活動に取り組んでいます。

2010年5月エコアクション21の認証登録、2014年5月自己宣言による環境マネジメントシステム(EMS)に移行し、継続して運用を図っています。

環境マネジメント活動は、吉備国際大学のSDGsへの取り組みの一環です。

吉備国際大学環境方針

基本理念

吉備国際大学は、「日本人としてのメンタリティと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有為な個性ある人材を養成する」ことを教育目標として掲げています。この教育理念を踏まえ、教育・研究、地域貢献、国際交流などの活動において、環境との調和と共生を図るとともに、地球環境に配慮して行動することができる人材の育成を通して、持続可能な社会の構築に貢献します。

基本方針

1. 教育・研究活動及びそれに付随する活動において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルの推進、化学物質の削減、グリーン購入の推進に努めます。
2. 環境マネジメントシステムを確立し、教職員及び学生の環境意識を啓発するとともに、環境マネジメントシステムを定期的に見直し、その継続的な改善を図ります。
3. 大学の教育活動を通じ、学生の環境意識の醸成に努め、地球環境に配慮して行動できる人材の育成に努めます。
4. 学内の教育・研究活動においては、環境関連の法令、条例及び協定を遵守します。
5. この環境方針を達成するため、目標を設定し、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員が一致協力してその達成を図ります。
6. この環境方針は、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員に周知するとともに、広く一般にも公開します。

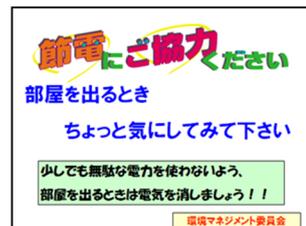
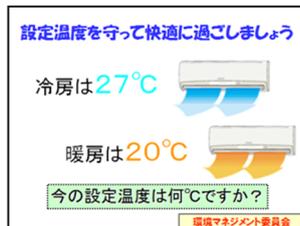
吉備国際大学 学長

●環境マネジメント活動の啓発ポスター

環境マネジメント活動では、学内各所に啓発ポスターを掲示しています。ポスターは「吉備国際大学環境方針」、「室内温度設定の遵守」、「節電」、「節水」、「ゴミ分別」、「ゴミ減量」、「紙の節約」、「エレベーター利用の削減」などです。環境マネジメント活動に、ご協力下さい。



「SDGs アイコン 11・12・14」を付した分別ごみ箱
(高梁キャンパス・食堂前)



●分別ごみ箱の設置と吉備国際大学ごみ分別表

吉備国際大学では、ごみを6種類に分別しています。吉備国際大学ごみ分別表に従って、ごみ分別に協力をお願いします。このうち4分別のごみ箱をキャンパス内に設置しています。ごみは、可燃ごみ（プラスチックを含む）、不燃ごみ、カン/ビン、ペットボトルにそれぞれ分別してください。古新聞・古雑誌、雑紙、段ボール等の古紙類、乾電池やインクカートリッジは、別途収集してリサイクルしています。食事で出るカップ麺の残り汁は、①講義室 ⇒ 水洗トイレの中、②コンビニラウンジ ⇒ 専用流し台に捨てて下さい。



高梁キャンパス



岡山キャンパス



南あわじキャンパス

分別		吉備国際大学ごみ分別表		減量
分別種類	ごみの種類	注意事項		
廃棄物	可燃ごみ (プラスチック類を含む)	紙くず、食品ごみ、木くず、布類、ペットボトルのフタ、プラスチック類(弁当容器、発泡スチロール容器、レジ袋、ポリ袋類、菓子袋、トレイ)、ビデオテープ、CD		★不燃ごみを投入しないこと ★カップ麺の容器など、中身をからにしていること
	不燃ごみ	割れたビン・ガラス、陶磁器類、ライター、刃物、金属類、油など汚れの落ちにくいカン・ビン		★割れたビン、ガラス類、刃物等は収集時に危険がないよう袋に入れて内容物を記載すること
資源物	カン・ビン	アルミ缶、スチール缶、スプレー缶(必ず穴をあける)、菓子缶、缶詰缶、コーヒー缶、飲料ビン、調味料のビン、コーヒープン		★容器の中身を空にすること ★PETボトルを投入しないこと
	ペットボトル	ペットボトル(液体飲料、調味料などの容器) (ペットボトルのマークがあるもの)		★ペットボトルのフタは可燃ごみへ入れること ★容器の中身を空にすること
その他	古新聞・古雑誌 ざつ紙・段ボール	古新聞、古雑誌(書籍含む)、段ボール、その他の紙類(印刷物、ファイル・バインダー類、紙箱、包装紙、紙袋) ひもで十文字にきつく縛り、指定の集積場所へ		★できる限りシュレッダーにかけないでリサイクルに回すこと ★付属の金属・プラをはずすこと
	乾電池・蛍光管 インクカートリッジ	乾電池 → 事務室設置の乾電池入れへ インクカートリッジ → 事務室設置の回収ボックスへ 蛍光管 → 指定の集積場所へ		★不燃ごみに投入しないようにすること

★ごみになるものを買わない、大学に持ち込まないを徹底しましょう。
★ごみは必ず分別して、ごみ箱に投入して下さい。

環境マネジメント委員会

●キャンパス内および周辺における喫煙マナー等の実施

吉備国際大学では、環境マネジメント活動の一環として、大学のキャンパスはもとより、大学周辺の環境美化と喫煙マナーを推進しています。

2019年7月1日（月）より、「受動喫煙を防止する」ことを目的とした「[健康増進法の一部を改正する法律](#)」が施行され、キャンパス内の喫煙場所が変更されました。喫煙者は、喫煙場所に注意してください。なお、喫煙場所以外で喫煙した場合、[懲戒処分の対象](#)になります（学則第47号）。

1. 大学構内は基本的に**全面禁煙**である。トイレなどに**隠れて喫煙をしない**こと、夜間の**学内で喫煙をしない**こと、**ポイ捨てをしない**こと。
2. 喫煙者は**決められた場所で喫煙**（喫煙所マークの表示）をすること。自主清掃をして、**喫煙場所の美化**に努めること。
＜高梁キャンパスの屋外喫煙場所：3か所＞ 大学2号館階下 喫煙ブース
大学10号館東 喫煙ブース
順正高等看護福祉専門学校2号棟南 喫煙所
＜岡山キャンパスの屋外喫煙場所：1か所＞ 3号棟（厚生棟）北西外角
3. 学内・学外であっても、**吸い殻のポイ捨ては禁止**である。アパートとの往復行程や駅に行く途中などの道路や住宅付近では、**路上喫煙をしない**こと。
4. 大学構内では、むやみに、**唾（ツバ）・痰（クワ）**を灰皿や路上に吐かないこと。



灰皿や路上への唾・タンの禁止



学内禁煙の表示版



駐輪場の「ポイ捨て」禁止ポスター



トイレの喫煙禁止ポスター



学内に設置している喫煙ブース

吉備国際大学 喫煙場所【2019年7月1日以降】

■喫煙場所：高梁キャンパス

- ★喫煙場所
- ・大学2号館階下 喫煙ブース
 - ・大学10号館東 喫煙ブース
 - ・順正高等看護福祉専門学校
2号棟南 喫煙所



■喫煙場所：岡山キャンパス



「吉備国際大学 環境マネジメント活動」の紹介

吉備国際大学は全学的に、環境マネジメント活動に取り組んでいます。

2010年5月エコアクション21の認証登録、2014年5月自己宣言による環境マネジメントシステム(EMS)に移行し、継続して運用を図っています。

環境マネジメント活動は、吉備国際大学のSDGsへの取り組みの一環です。

吉備国際大学環境方針

基本理念

吉備国際大学は、「日本人としてのメンタリティと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有為な個性ある人材を養成する」ことを教育目標として掲げています。

この教育理念を踏まえ、教育・研究、地域貢献、国際交流などの活動において、環境との調和と共生を図るとともに、地球環境に配慮して行動することができる人材の育成を通して、持続可能な社会の構築に貢献します。

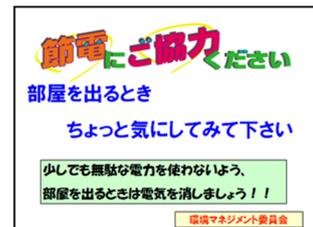
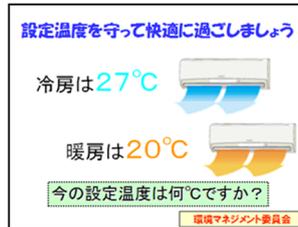
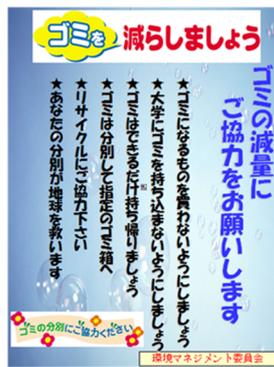
基本方針

1. 教育・研究活動及びそれに付随する活動において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルの推進、化学物質の削減、グリーン購入の推進に努めます。
2. 環境マネジメントシステムを確立し、教職員及び学生の環境意識を啓発するとともに、環境マネジメントシステムを定期的に見直し、その継続的な改善を図ります。
3. 大学の教育活動を通じ、学生の環境意識の醸成に努め、地球環境に配慮して行動できる人材の育成に努めます。
4. 学内の教育・研究活動においては、環境関連の法令、条例及び協定を遵守します。
5. この環境方針を達成するため、目標を設定し、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員が一致協力してその達成を図ります。
6. この環境方針は、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員に周知するとともに、広く一般にも公開します。

吉備国際大学 学長

●環境マネジメント活動の啓発ポスター

環境マネジメント活動では、学内各所に啓発ポスターを掲示しています。ポスターは「吉備国際大学環境方針」、「室内温度設定の遵守」、「節電」、「節水」、「ゴミ分別」、「ゴミ減量」、「紙の節約」、「エレベーター利用の削減」などです。環境マネジメント活動に、ご協力下さい。



●ごみ箱の整理と分別ごみ箱の設置・変更

吉備国際大学では、ごみを6種類に分別しています。吉備国際大学ごみ分別表に従って、ごみ分別に協力をお願いします。このうち4分別のごみ箱をキャンパスに設置しています。ごみは、可燃ごみ（プラスチックを含む）、不燃ごみ、カン/ビン、ペットボトルにそれぞれ分別してください。古新聞・古雑誌、雑紙、段ボール等の古紙類、乾電池やインクカートリッジは、別途収集してリサイクルしています。食事が出るカッパ麺の残り汁は、①食堂 ⇒ 専用流し台、②講義室等 ⇒ 水洗トイレの中に捨てて下さい。



南あわじキャンパス



岡山キャンパス



高梁キャンパス

吉備国際大学ごみ分別表 南あわじキャンパス			
	分別種類	ごみの種類	注意事項
廃棄物	可燃ごみ (プラスチック類を含む)	紙くず、食品ごみ、木くず、布類、ペットボトルのフタ、プラスチック類(弁当容器、発泡スチロール容器、レジ袋、ポリ袋類、菓子袋、トレイ)、ビデオテープ、CD	★不燃ごみを投入しないこと ★カッパ麺の容器など、中身をからにしていること
	不燃ごみ	油など汚れの落ちにくいカン・ビン、金属類・ライター・刃物等(有害危険ゴミの専用箱に入れる)	★ライターはガス抜きすること ★刃物は新聞紙等紙に包むこと
資源物	カン・ビン	アルミ缶、スチール缶、スプレー缶(必ず穴をあける)、菓子缶、缶詰缶、コーヒー缶、飲料ビン、調味料のビン、コーヒービン、割れたビン、ガラス、陶磁器類、金属類	★容器の中身を空にすること ★割れたビン・ガラス類は収集時に危険がないよう袋に入れて内容物を記載すること
	ペットボトル	ペットボトル(液体飲料、調味料などの容器)(ペットボトルのマークがあるもの)	★ペットボトルのフタは可燃ゴミへ入れること ★容器の中身を空にすること
その他	古新聞・古雑誌 ざつ紙・段ボール	古新聞、古雑誌(書籍含む)、段ボール、その他の紙類(印刷物、ファイル・バインダー類、紙箱、包装紙、紙袋) ひもで十文字にきつく縛り、指定の集積場所へ	★できる限りシュレッダーにかけないでリサイクルに回すこと ★付属の金属・プラをはずすこと
	乾電池・蛍光管 インクカートリッジ	乾電池 → 事務室設置の乾電池入れへ インクカートリッジ → 事務室設置の回収ボックスへ 蛍光管 → 指定の収集場所へ	★不燃ごみに投入しないようにすること

★ごみになるものを買わない、大学に持ち込まないを徹底しましょう。
★ごみは必ず分別して、ごみ箱に投入して下さい。

環境マネジメント委員会

●キャンパス内および周辺における喫煙マナーの実施

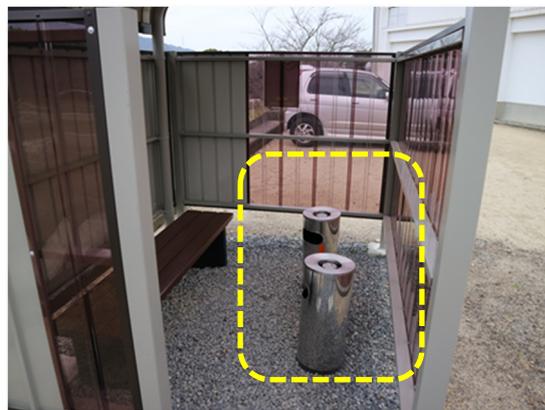
吉備国際大学では、環境マネジメント活動の一環として、大学のキャンパスはもとより、大学周辺の環境美化を推進しています。2019年7月1日（月）より、「受動喫煙を防止する」ことを目的とした「[健康増進法の一部を改正する法律](#)」が施行され、キャンパス内の喫煙場所が変更されました。

喫煙者は、決められた喫煙場所で美化に努めながら、喫煙マナーにとり組んでください。

1. 大学構内は基本的に**全面禁煙**である。トイレなどで**隠れて喫煙をしないこと**、夜間の**学内で喫煙をしないこと**、**ポイ捨てをしないこと**。
2. 喫煙者は**決められた場所で喫煙**（喫煙所マークの表示）をすること。**喫煙場所の美化に努めること**。
　　<大学構内（南あわじ）の屋外喫煙場所> クラブハウス横
3. 学内・学外であっても、**吸い殻のポイ捨ては禁止**である。また、学生宿舎との往復行程、或いは駅に行く途中などの道路や住宅付近では、**路上喫煙をしないこと**。
4. 大学構内では、むやみに、**唾（ツバ）・痰（クワ）を灰皿や路上に吐かないこと**。



灰皿や路上への唾・タンの禁止

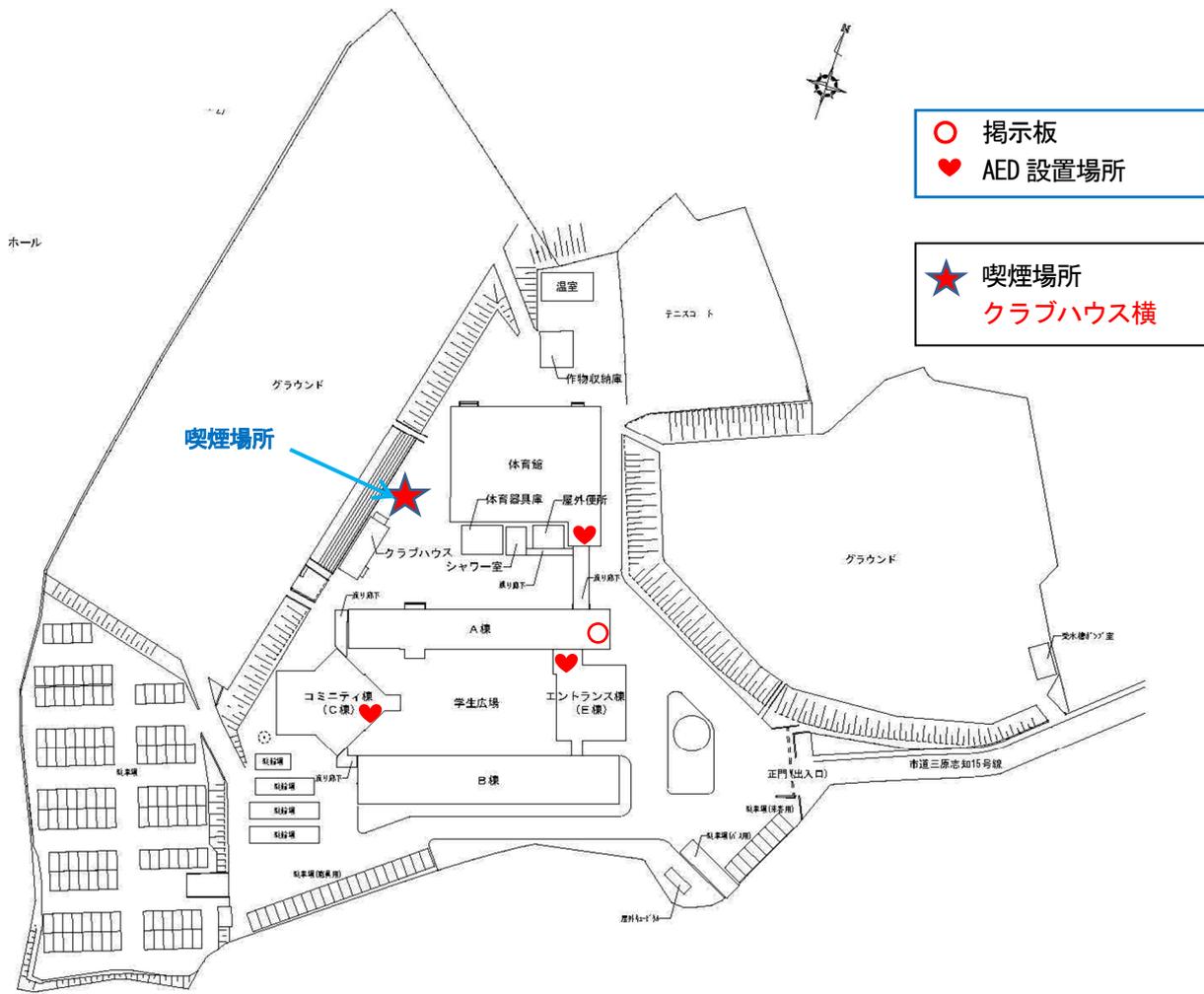


学内に設置している喫煙ブース（クラブハウス横）

吉備国際大学（南あわじ志知キャンパス）喫煙場所 【2019年7月以降】

南あわじ志知キャンパス 校舎・敷地配置図

- A棟 1F 理事長・総長室、応接室、学長室、学部長室、非常勤講師室、保健室
事務室・スチューデントサポートセンター・キャリアサポートセンター
- 2F 会議室、地域連携センター・植物クリニックセンター、共同研究室
自修道場、ゼミ室(203)、研究室(206・207)
- 3F 準備室、自習室、研究室(303・304・306・307・309・310)
- 4F 研究室(401・402・404・405・407・408・410)、ゼミ室(403・406・409)
- B棟 1F 講義室(101・102・104・105)、自習室(103)
- 2F 講義室(201・202・204・205)、自習室(203)
- 3F 生物実験室、化学実験室、食品加工実験室、実験準備室(1・2)
- 4F 植物遺伝資源管理室、植物育種学実験室、植物病理実験室、食品化学実験室(1・2)
化学分析室、微生物培養室、顕微鏡室、組織解析室、学生実験室(1~4)
- C棟 1F 食堂、厨房
- 2F カフェテリア、イタリアンパスタコーナー
- 3F 大講義室
- E棟 1F エントランス・ホール、ロカールーム(男・女)
- 2F 図書室、ホール
- 3F 情報処理室、情報資料室、サーバー室、ホール



「吉備国際大学 環境マネジメント活動」の紹介

吉備国際大学は全学的に、環境マネジメント活動に取り組んでいます。
2010年5月エコアクション21の認証登録、2014年5月自己宣言による環境マネジメントシステム(EMS)に移行し、継続して運用を図っています。
環境マネジメント活動は、吉備国際大学のSDGsへの取り組みの一環です。

吉備国際大学 環境方針

基本理念

吉備国際大学は、「日本人としてのメンタリティと国際人としてのセンスを兼ね備え、豊かな人間性と専門性を有する、社会に有為な個性ある人材を養成する」ことを教育目標として掲げています。
この教育理念を踏まえ、教育・研究、地域貢献、国際交流などの活動において、環境との調和と共生を図るとともに、地球環境に配慮して行動することができる人材の育成を通して、持続可能な社会の構築に貢献します。

基本方針

1. 教育・研究活動及びそれに付随する活動において、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルの推進、化学物質の削減、グリーン購入の推進に努めます。
2. 環境マネジメントシステムを確立し、教職員及び学生の環境意識を啓発するとともに、環境マネジメントシステムを定期的に見直し、その継続的な改善を図ります。
3. 大学の教育活動を通じ、学生の環境意識の醸成に努め、地球環境に配慮して行動できる人材の育成に努めます。
4. 学内の教育・研究活動においては、環境関連の法令、条例及び協定を遵守します。
5. この環境方針を達成するため、目標を設定し、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員が一致協力してその達成を図ります。
6. この環境方針は、学内の教職員、学生及び常駐する委託会社の職員に周知するとともに、広く一般にも公開します。

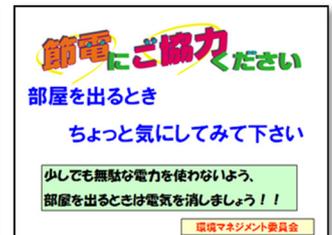
吉備国際大学 学長

●環境マネジメント活動の啓発ポスター

環境マネジメント活動では、学内各所に啓発ポスターを掲示しています。ポスターは「吉備国際大学環境方針」、「室内温度設定の遵守」、「節電」、「節水」、「ゴミ分別」、「ゴミ減量」、「紙の節約」、「エレベーター利用の削減」などです。環境マネジメント活動に、ご協力下さい。



「SDGs アイコン 11・12・14」を付した分別ごみ箱
(高梁キャンパス・食堂前)



●分別ごみ箱の設置と吉備国際大学ごみ分別表

吉備国際大学では、ごみを6種類に分別しています。吉備国際大学ごみ分別表に従って、ごみ分別にご協力をお願いします。このうち4分別のごみ箱をキャンパスに設置しています。ごみは、可燃ごみ（プラスチックを含む）、不燃ごみ、カンビン、ペットボトルに分別して、出して下さい。古新聞・古雑誌、雑紙、段ボール等の古紙類、乾電池やインクカートリッジは、別途収集してリサイクルしています。

カップ麺の残り汁は、①講義室 ⇒ 水洗トイレの中、②コンビニラウンジ ⇒ 専用流し台に捨てて下さい。



高梁キャンパス



岡山キャンパス



南あわじキャンパス

吉備国際大学ごみ分別表			
分別種類	ごみの種類	注意事項	
廃棄物	可燃ごみ (プラスチック類を含む)	紙くず、食品ごみ、木くず、布類、ペットボトルのフタ、プラスチック類(弁当容器、発泡スチロール容器、レジ袋、ポリ袋類、菓子袋、トレイ)、ビデオテープ、CD	★不燃ごみを投入しないこと ★カップ麺の容器など、中身をからにしていること
	不燃ごみ	割れたビン・ガラス、陶磁器類、ライター、刃物、金属類、油など汚れの落ちにくいカンビン	★割れたビン、ガラス類、刃物等は収集時に危険がないよう袋に入れて内容物を記載すること
資源物	カンビン	アルミ缶、スチール缶、スプレー缶(必ず穴をあける)、菓子缶、缶詰缶、コーヒー缶、飲料ビン、調味料のビン、コーヒービン	★容器の中身を空にすること ★PETボトルを投入しないこと
	ペットボトル	ペットボトル(液体飲料、調味料などの容器) (ペットボトルのマークがあるもの)	★ペットボトルのフタは可燃ゴミへ入れること ★容器の中身を空にすること
その他	古新聞・古雑誌 ざつ紙・段ボール	古新聞、古雑誌(書籍含む)、段ボール、その他の紙類(印刷物、ファイル・ハイダー類、紙箱、包装紙、紙袋) ひもで十文字にきつく縛り、指定の集積場所へ	★できる限りシュレッダーにかけないでリサイクルに回すこと ★付属の金属・プラをはずすこと
	乾電池・蛍光管 インクカートリッジ	乾電池 → 事務室設置の乾電池入れへ インクカートリッジ → 事務室設置の回収ボックスへ 蛍光管 → 指定の集積場所へ	★不燃ごみに投入しないようにすること

★ごみになるものを買わない、大学に持ち込まないを徹底しましょう。
★ごみは必ず分別して、ごみ箱に投入して下さい。

環境マネジメント委員会

●キャンパス内および周辺における喫煙マナーの実施

吉備国際大学では、環境マネジメント活動の一環として、大学のキャンパスはもとより、大学周辺の環境美化と喫煙マナーを推進しています。

2019年7月1日(月)より、「受動喫煙を防止する」ことを目的とした「健康増進法の一部を改正する法律」が施行され、キャンパス内の喫煙場所が変更されました。喫煙者は、喫煙場所に注意してください。なお、喫煙場所以外で喫煙した場合、懲戒処分の対象になります(学則第47号)。

1. 大学構内は基本的に**全面禁煙**である。トイレなどに**隠れて喫煙しない**こと、夜間の**学内で喫煙をしない**こと、**ポイ捨てをしない**こと。
2. 喫煙者は**決められた場所で喫煙**(喫煙所マークの表示)をすること。自主清掃をして、**喫煙場所の美化**に努めること。

<p>＜高梁キャンパスの屋外喫煙場所：3か所＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学2号館階下 喫煙ブース 大学10号館 東 喫煙ブース 順正高等看護福祉専門学校2号棟 南 喫煙所 	<p>＜岡山キャンパスの屋外喫煙場所：1か所＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 3号棟(厚生棟) 北西外角
--	---
3. 学内・学外であっても、**吸い殻のポイ捨ては禁止**である。また、アパートとの**往復行程**、**駅に行く途中**などの道路や住宅付近では、**路上喫煙をしない**こと。
4. 大学構内では、むやみに、**唾(ツァ)・痰(タ)**を**灰皿**や**路上**に吐かないこと。



灰皿や路上への唾・タンの禁止



学内禁煙の表示版



駐輪場の「ポイ捨て」禁止ポスター



トイレの喫煙禁止ポスター



学内に設置している喫煙ブース

